

令和4年度行政事業レビューシート ( 文部科学省 )

<b>事業名</b>	国費外国人留学生制度			<b>担当部局庁</b>	高等教育局	<b>作成責任者</b>				
<b>事業開始年度</b>	昭和29年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	高等教育国際戦略PT	PTリーダー 渡辺 栄二				
<b>会計区分</b>	一般会計									
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)				<b>関係する計画、通知等</b>	「留学生30万人計画」骨子(平成20年7月29日策定) 「日本再興戦略～JAPAN is BACK～」(平成25年6月14日閣議決定) 「第2期教育振興基本計画」(平成25年6月14日閣議決定)					
<b>主要政策・施策</b>	ODA			<b>主要経費</b>	経済協力					
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	諸外国の優れた人材を我が国の高等教育機関で受け入れることで、我が国と諸外国との国際交流を図り、相互の友好親善を促進するとともに、将来を担う人材の育成に資することを目的とする。									
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	関係省庁と連携し、諸外国の優秀な人材を国費外国人留学生として受入れ、高度人材の養成を行い、我が国のグローバル化、諸外国との相互理解の増進と人的ネットワークの形成、我が国の大学等の教育力・研究力の強化及び国際的貢献を図る。本事業では、国費外国人留学生に対し奨学金等を給付するとともに公私立学校に在学する者について授業料等を支出する。									
<b>実施方法</b>	直接実施									
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	18,577	18,568	18,476.9	18,387	18,387			
		補正予算	▲ 628	▲ 1,178	▲ 1,057					
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計		17,949	17,390	17,419.9	18,387	18,387			
	執行額		17,078	15,520	14,788					
	執行率 (%)		95%	89%	85%					
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		95%	89%	85%					
<b>令和4・5年度 予算内訳</b> (単位:百万円)	<b>歳出予算目</b>	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由						
	政府開発援助外国人留学生給与	11,730	12,061	金額は単位未満を四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。						
	外国人留学生給与	4,791	4,461							
	政府開発援助外国人留学生教育費	734	755							
	政府開発援助外国人留学生招致及帰国旅費	571	587							
	外国人留学生教育費	299	279							
	その他	262	244							
	計	18,387	18,387							
<b>活動内容</b> (アクティビティ)	日本と諸外国との国際交流を図り、相互の友好親善を促進するとともに、諸外国の人材養成に資することを目的として、我が国の大学等への留学を希望する外国人を募集し、選定された者に対して奨学金等を支給									
<b>活動目標及び活動実績</b> (アウトプット)	<b>活動目標</b>	<b>活動指標</b>		<b>単位</b>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	選定された国費外国人留学生に対して奨学金等を支給	当該年度における受給者数	活動実績	人	11,106	10,301	10,137			
			当初見込み	人	11,276	11,473	11,408	11,344	11,344	
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠			<b>単位</b>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	執行額/当該年度における受給者数			単位当たりコスト	千円	1,538	1,507	1,527	1,621	
	※令和3年度活動見込みは「予算額/見込受給者数」			計算式	百万円/人	17,078/11,106	15,520/10,301	17,420/11,408	18,387/11,344	

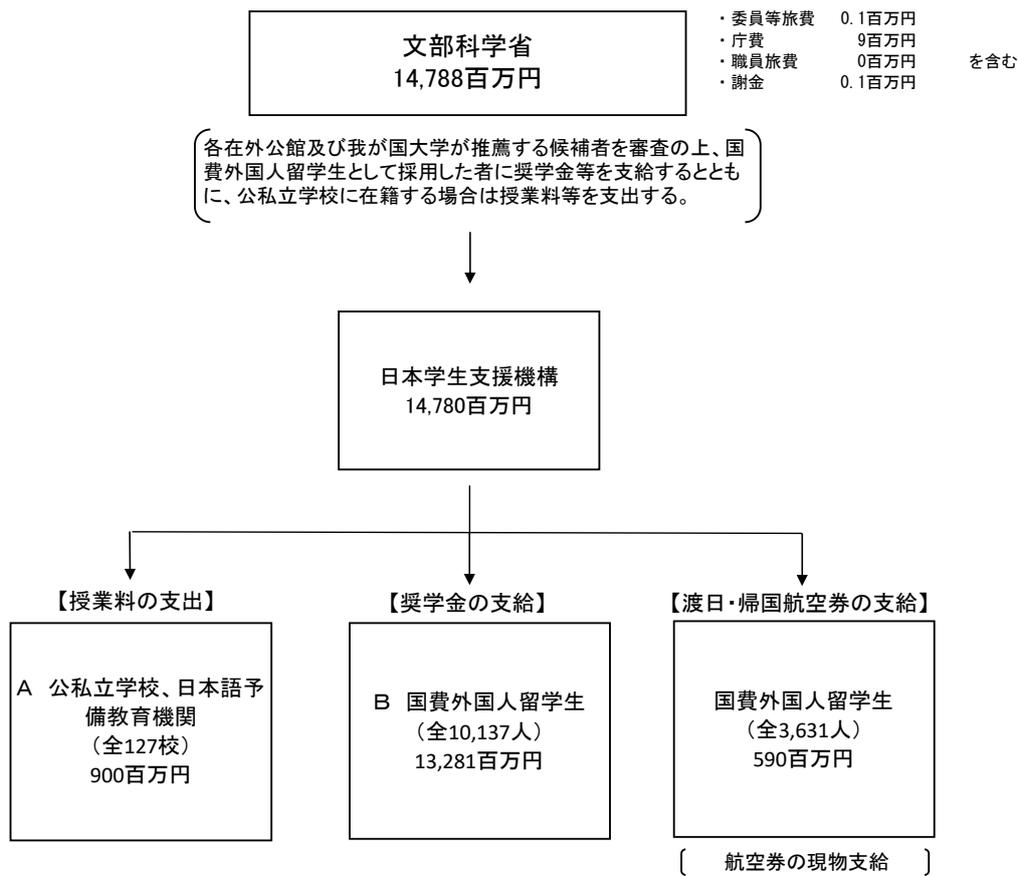
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	成果実績	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 3 年度	目標最終年度 - 年度	
	国費外国人留学生受入れ 大学等における私費外国 人留学生数を増やす	国費外国人留学生受入れ 大学等における私費外国 人留学生数		人	94,720	85,991	82,260	-	-	
				人	94,990	98,509	98,509	98,509	-	
				%	100	87	83.5	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	独立行政法人日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」									
政策評価、 新経済・ 財政再生計画と の関係	政策	13 豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進								
	政策評価	政策評価書 URL	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-13_1.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-13_1.pdf</a>							
	施策	該当箇所	同上							
	新経済・ 財政再生 計画改革 工程表 2021	取組事項	分野: -	-						
		(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-							
		該当箇所	-							
<b>事業所管部局による点検・改善</b>										
	項目	評価	評価に関する説明							
国費投入の 必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は「日本再興戦略」及び「教育振興基本計画」の目標達成に向け、その根幹をなす事業として実施するものである。諸外国の優秀な人材を国費外国人留学生として受入れ、高度人材の養成を行うことで、我が国のグローバル化、諸外国との相互理解の増進と人的ネットワークの形成、我が国の大学等の教育力・研究力の強化、国際的知的貢献に資するものである。							
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、国が進める留学生受入、国際的な教育交流及び相互理解の増進へ貢献するものであり、国が直接実施すべき事業である。							
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、国が進める留学生受入、国際的な教育交流及び相互理解の増進へ貢献するものであり、優先度の高い事業である。							
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出先(採用者)は、有識者による選考委員会において申請者の研究内容等を厳正に審査の上、決定されている。							
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無								
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無								
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	国費外国人留学生は、日本において研究を行うことを通じ、日本と自国との架け橋となり、両国ひいては世界の発展に貢献するような人材を育成することを目的として外国人留学生に対して奨学金等を支給しており、国が負担することが妥当である。							
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	航空券の手配は、より低廉なものを手配する等、単位あたりコストの削減に努めている。							
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	費目や用途は、留学生に対する奨学金等に限定されている。							
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	費目や用途は、留学生に対する奨学金等に限定されている。							
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-							
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-								
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-								
事業の 有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	活動実績が見込みに見合ったものであり、優秀な留学生の継続的な受入れにつながっている点から、本事業の実効性は高い。国際交流に貢献するとともに、将来を担う人材の育成に資するという成果目標にもつながるものであり、成果実績も成果目標に見合ったものである。							
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-							
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績は見込みに見合ったものであり、優秀な留学生の継続的な受入れにつながっている。							
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-							

<b>関連事業</b>	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				-
	事業番号		事業名		
<b>点検・改善結果</b>	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業により、諸外国の優れた人材を我が国の高等教育機関で受け入れることにより、国際交流に貢献するとともに、将来を担う人材育成につながっている。</li> <li>・元国費留学生の継続的なフォローアップの実施が課題ではあるが、留学生全体のフォローアップについては外務省と連携して実施している。</li> </ul>			
	改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人留学生招致及帰国旅費について、より低廉な航空券を手配するなど、効率化を図り、国費外国人留学生の採用を拡大し、外国人留学生給与の不用を解消する。</li> </ul>			
<b>外部有識者の所見</b>					
<p>アウトカム成果指標の「私費外国人留学生数を増やす」という点については、本事業における間接的効果として必要かもしれないが、ロジックモデルに基づき、事業の成果を適切に測るための成果指標を設定できないか検討が必要である。</p> <p>元国費留学生のフォローアップについては、課題として認識しているのであれば、それに基づき成果指標を設定し、課題に対して対策を講じる必要があるのではないかと。</p>					
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>					
の事業部内改善	<p>外部有識者の所見を踏まえ、事業の成果を適切に測るための成果指標を設定できないか検討が必要である。また、元国費留学生のフォローアップについては成果指標を設定し、課題に対する対策を講じるべきである。</p>				
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>					
執行等改善	<p>外部有識者点検での指摘や行政事業レビュー推進チームの所見及び今後の留学生施策及び国費外国人留学生制度の在り方の見直しの状況を踏まえ、アウトカム指標の設定について見直しを検討する。</p>				
<b>備考</b>					
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>					
平成23年度	172				
平成24年度	193				
平成25年度	425				
平成26年度	424				
平成27年度	416				
平成28年度	398				
平成29年度	406				
平成30年度	411				
令和元年度	文部科学省 - 0404				
令和2年度	文部科学省 0405				
令和3年度	2021 文科 20 0424				

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位: 百万円)



**費目・使途**  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.独立行政法人日本学生支援機構			B.国費外国人留学生A		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
政府開発援助外国人教育費及び外国人留学生教育費	授業料等	137	政府開発援助外国人留学生給与及び外国人留学生給与	生活費等	2
計		137	計		2

